

会長講演・招請講演・基調講演

- 会長講演** 11 月 13 日 (木) 8:50～9:50 ●第 1 会場 (1F メインホール)
「激動の社会の新生児医療～未来への勇気と希望～」
演者：高橋 尚人 (東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部)
座長：森岡 一郎 (日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野)
- 招請講演** 11 月 13 日 (木) 9:55～10:55 ●第 1 会場 (1F メインホール)
「遺伝統計学による疾患病態解明と個別化医療」
演者：岡田 随象 (東京大学医学系研究科 遺伝情報学)
座長：北畠 康司 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)
- 基調講演** 11 月 13 日 (木) 11:00～12:00 ●第 1 会場 (1F メインホール)
「いのちの尊厳性について」
演者：安食 弘幸 (峰町キリスト教会)
座長：高橋 尚人 (東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部)

教育講演

- 教育講演 1** 11 月 13 日 (木) 13:20～14:20 ●第 4 会場 (5F 503)
「ディベロップメンタルケア (DC) の進化と継承」
演者：大城 昌平 (聖隷クリストファー大学)
座長：有光 威志 (慶應義塾大学医学部 小児科)
- 教育講演 2** 11 月 13 日 (木) 15:55～16:55 ●第 4 会場 (5F 503)
「Can we prevent the long term adverse respiratory outcomes of premature birth?」
演者：Ann Greenough (King's College, London)
座長：難波 文彦 (埼玉医科大学総合医療センター 小児科)
- 教育講演 3** 11 月 13 日 (木) 17:00～18:00 ●第 4 会場 (5F 503)
「プロテオミクスの新たな扉を開ける
— 100%小児外科医が目指す次世代型研究システム～ Team Science 構想～」
演者：渡辺栄一郎 (北里大学医学部 一般・小児・肝胆膵外科)
座長：向井 丈雄 (東京大学医学部附属病院 小児科)
- 教育講演 4** 11 月 14 日 (金) 9:00～9:45 ●第 4 会場 (5F 503)
「新生児におけるエコーウイルス 11 型感染症」
演者：幾瀬 樹 (国立成育医療研究センター 感染症科)
座長：岡崎 薫 (東京都立小児総合医療センター 新生児科)

教育講演 5 11月14日(金) 9:50～10:50 ●第4会場(5F 503)

「新生児医療の法的課題—日本と諸外国の比較を兼ねて」

演者: 米村 滋人(東京大学大学院 法学政治学研究科)

座長: 日下 隆(香川大学医学部 小児科学講座)

教育講演 6 11月14日(金) 10:55～11:55 ●第4会場(5F 503)

「microRNAと医学・医療」

演者: 郷 勇人(福島県立医科大学 小児科学講座)

座長: 鹿嶋 晃平(国際医療福祉大学成田病院 小児科新生児集中治療部)

教育講演 7 11月14日(金) 13:20～14:20 ●第4会場(5F 503)

「ゲノム編集が切り拓く未来 いまなにが始まろうとしているのか」

演者: 北畠 康司(大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

座長: 長 和俊(JCHO 北海道病院)

教育講演 8 11月15日(土) 9:00～10:05 ●第4会場(5F 503)

1. 「T細胞が関わる新生児免疫寛容機構—加齢によるHeliosの発現変化」

演者: 武藤 浩司(東京大学医学部附属病院 小児科)

2. 「自己免疫疾患母体から出生した児の免疫反応」

演者: 入佐 千晴(東京大学医学部附属病院)

座長: 垣内 五月(東京女子医科大学病院 新生児科)

教育講演 9 11月15日(土) 10:05～10:55 ●第4会場(5F 503)

「早産児栄養の最新研究」

演者: 東海林宏道(順天堂大学医学部 小児科学講座)

座長: 水野 克己(昭和医科大学 小児科学講座)

教育講演 10 11月15日(土) 11:00～11:50 ●第4会場(5F 503)

「早産児の神経発達症に対する最新のアプローチ」

演者: 竹内 章人(国立病院機構岡山医療センター 新生児科・小児神経内科)

座長: 佐藤 義朗(名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 新生児部門)

教育講演 11 11月15日(土) 13:20～14:20 ●第4会場(5F 503)

「生成AIの現状と活用」

演者: 太田 邦史(東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻生命環境科学系)

座長: 高橋 尚人(東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部)

教育講演 12 11月15日(土) 14:30～15:30 ●第4会場(5F 503)

「超低出生体重児における消化管穿孔に対する治療戦略と術後痛管理

—胎便関連性腸閉塞症を中心に—」

演者: 窪田 昭男(月山チャイルドケアクリニック)

座長: 荒堀 仁美(市立豊中病院 小児科)

学会賞受賞記念講演・ 佐多フェローシップキングスカレッジプログラム留学報告

学会論文賞受賞記念講演

11 月 13 日 (木) 14:20 ~ 14:40 ●第 1 会場 (1F メインホール)

「NICU 入院中の家族への画像・情報配信による家族への影響」

演者：早田 茉莉 (川口市立医療センター 新生児集中治療科)

座長：日下 隆 (香川大学医学部 小児科学講座)

学術奨励賞受賞記念講演

11 月 13 日 (木) 14:40 ~ 15:00 ●第 1 会場 (1F メインホール)

「Host-derived protein profiles of human neonatal meconium across gestational ages」

演者：設楽 佳彦 (東京大学医学部附属病院 小児科 / 東京女子医科大学病院 新生児科)

座長：日下 隆 (香川大学医学部 小児科学講座)

佐多フェローシップキングスカレッジプログラム留学報告

11 月 13 日 (木) 15:00 ~ 15:20 ●第 1 会場 (1F メインホール)

「キングスカレッジ・プログラム留学報告」

演者：池田 健太 (東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科)

座長：日下 隆 (香川大学医学部 小児科学講座)

第 28 回教育セミナー優秀ワークショップ

教育セミナー優秀ワークショップ発表会

11 月 13 日 (木) 13:20 ~ 14:10 ●第 1 会場 (1F メインホール)

演者：天野 安理 (筑波大学附属病院小児内科)

奥田 裕也 (倉敷成人病センター小児科)

五野上佳孝 (福島県立医科大学小児科学講座)

佐本奈々江 (沖縄県立中部病院小児科・新生児内科)

清水 佑基 (群馬県立小児医療センター新生児科)

菅原 碧 (国立成育医療研究センター新生児科)

曾根原祐太 (信州大学医学部附属病院小児科)

長尾 大輝 (岐阜県総合医療センター新生児内科)

中村 圭佑 (国立病院機構佐賀病院小児科)

縄田 慈子 (山口大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター)

新屋圭一郎 (岡山大学病院・岡山赤十字病院小児科)

森島 直子 (筑波大学附属病院小児内科)

座長：中西 秀彦 (北里大学医学部附属新世紀医療開発センター 先端医療領域開発部門 新生児集中治療学)

シンポジウム

シンポジウム1 11月13日(木) 13:20～15:20 ●第2会場(5F 501)

「百日咳・RSウイルス感染症の予防開発の過去・現在・未来」

座長：森岡 一朗(日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野)

大城 誠(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 小児科)

1. 百日咳の現状と百日せき含有ワクチン開発の歴史

岡田 賢司(福岡看護大学)

2. 新生児・乳児期早期における百日咳の予防—ワクチンの現状と今後の展望—

野崎 昌俊(大阪母子医療センター 周産期・小児感染症科/新生児科)

3. RSウイルス感染症の現状の課題とワクチン、抗体製剤開発の歴史

橋本 浩一(公立大学法人福島県立医科大学医学部 小児科学講座)

4. 新生児・乳児のRSウイルス感染症の予防：妊婦ワクチンと抗体製剤の現在と未来

森岡 一朗(日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野)

シンポジウム2 11月13日(木) 13:20～15:50 ●第5会場(3F 304)

(フォローアップ認定医制度委員会・診療委員会合同企画)

「症例に学ぶ認定医のフォローアップと早産・低出生体重児の中長期的な健康課題」

座長：河野 由美(自治医科大学 小児科)

豊島 勝昭(神奈川県立こども医療センター 新生児科)

パート1「症例に学ぶ」

1. 早産児・低出生体重児のフォローアップ—認定医のフォローアップ症例を参照して

平野 慎也(大阪母子医療センター 新生児科)

2. 神経合併症をもつ医療的ケア児のフォローアップ

高田 栄子(光の家療育センター)

3. 学童期を超えた長期フォローアップ—就園・就学支援

九島 令子(東京都立墨東病院 新生児科)

パート2「中長期的な健康課題」

4. 早産・低出生体重児の身体発育(身長、体格、二次性徴)の中長期的な課題について
—SGA児を中心に—

伊藤 善也(日本赤十字北海道看護大学 臨床医学領域)

5. 早産児・低出生体重児の中長期的な呼吸予後と健康課題

平田 克弥(地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 新生児科)

6. 学齢期・思春期の早産児における神経発達症

竹内 章人(国立病院機構岡山医療センター 新生児科・小児神経内科)

7. 早産・低出生体重児の中長期的なQOLと支援体制

盛一 享徳(国立成育医療研究センター研究所 小児慢性特定疾病情報室)

シンポジウム 3 11 月 14 日（金）9：00～11：00 ●第 2 会場（5F 501）

「Family-centered care を実現するための様々なアプローチ」

座長：有光 威志（慶應義塾大学医学部 小児科）

小田 新（長野県立こども病院 新生児科）

1. 医療者と家族のコミュニケーションを変える

Close Collaboration with Parents トレーニング—医師の視点—

糸島 亮（長野県立こども病院 新生児科）

2. 医療者と家族のコミュニケーションを変える

Close Collaboration with Parents トレーニング—看護師の視点—

深尾 有紀（長野県立こども病院）

3. Close Collaboration with Parents

トレーニングを受けてみて—家族の思い—

小松 亮介

4. チーム全体ではなくむファミリーセンタードケア

—NIDCAP で家族と一緒に育つ組織風土—

近藤雅楽子（東京都立墨東病院 周産期センター 新生児科）

5. チーム全体ではなくむファミリーセンタードケア

—あかちゃんと家族の関わり合いを深める NIDCAP のアプローチ—

内海加奈子（東京都立墨東病院）

6. がんばれ、あき君！ がんばれ、とも君！

—NIDCAP で「病院」「家族」を超えて感じたこと—

越智 友理

シンポジウム 4 11 月 14 日（金）9：00～12：00 ●第 3 会場（5F 502）

（社会保険委員会・医療安全委員会・薬事委員会合同企画）

「新生児医療に迫る危機—ともに乗り越えるために—」

座長：佐藤 義朗（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 新生児部門）

影山 操（国立病院機構岡山医療センター 新生児科）

落合 正行（九州大学環境発達医学研究センター）

パート 1 「総論：新生児医療に迫る危機—各委員会より課題提供—」

1. 医薬品の安定供給に係る現状と行政の取組み

藤井 大資（厚生労働省医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 医薬品産業・ベンチャー等
支援政策室）

2. NICU 集約化に向けた地域医療の課題

和田 雅樹（新潟県福祉保健部）

3. 患者安全の視点で考える適応外使用のリスク—全ての新生児に安全で質の高い医療を—

山本 啓央（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）

パート 2 「各論：重症新生児の診療に潜むリスクを知り、ともに乗り越える」

4. 新生児麻酔の最前線—薬剤鎮静や循環管理を含めて—

遠山 悟史（東京科学大学大学院 心肺統御麻酔学分野（周産期・小児麻酔学担当））

5. 新生児鎮静の現状と課題—デクスメトミジンを例に—

河田 興（摂南大学薬学部 臨床薬理学）

6. シリンジポンプの特徴と血圧変動の関連性とその対策—並列回路の運用を含めて—

松井 晃（神奈川県立こども医療センター 新生児科）

シンポジウム5 11月14日（金）9：00～11：00 ●第5会場（3F 304）

「早産児動脈管開存症の診療の現在地と未来」

座長：内山 温（東海大学医学部総合診療学系 小児科学）

豊島 勝昭（神奈川県立こども医療センター 新生児科）

1. 超早産児のPDAに対するイブプロフェン治療

中尾 厚（日本赤十字社医療センター 新生児科）

2. 日本における未熟児動脈管開存症に対するアセトアミノフェン静注療法：

多施設共同ランダム化比較試験の実施状況と今後の展望

難波 文彦（埼玉医科大学総合医療センター 小児科）

3. PLASE 研究からみえてくること

増谷 聡（埼玉医科大学総合医療センター 小児科）

4. PDA カテーテル治療の現状と展望

杉山 央（大阪市立総合医療センター 小児循環器不整脈内科）

5. PDA ガイドラインと心エコー研究の融合によるPDA診療の未来

豊島 勝昭（神奈川県立こども医療センター 新生児科）

日本学術会議シンポジウム

11月14日（金）14：30～17：00 ●第4会場（5F 503）

「日本学術会議見解案『現代の新生児医療における臨床倫理の考え方と医学的意思決定の方法』の検討」

座長：高橋 尚人（東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部）

笹月 桃子（早稲田大学 人間科学学術院）

1. 現代の新生児医療における臨床倫理の考え方と医学的意思決定の方法

高橋 尚人（東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部）

2. 当事者研究から

熊谷晋一郎（東京大学先端科学技術研究センター）

3. 尊厳の考え方から

島藺 進（大正大学）

4. 法的側面から

米村 滋人（東京大学大学院 法学政治学研究科）

5. 小児の臨床倫理の視点から

笹月 桃子（早稲田大学 人間科学学術院）

ワークショップ

ワークショップ 1 11 月 13 日 (木) 14:00 ~ 15:30 ●第 3 会場 (5F 502)

「磨こう！ 難しい場面でのコミュニケーションスキル」

座長：福原 里恵（県立広島病院 新生児科）

白神美智恵（大阪大学医学部附属病院 患者包括サポートセンター）

1. 今日からは「使えない」コミュニケーションスキル

森本 健司（東京都立小児総合医療センター）

《ロールプレイ》

2. 難しい場面に遭遇したときの心と言葉のマネジメント

田辺有理子（横浜市立大学医学部 看護学科）

【注意事項】当日は、遅刻、途中退席はご遠慮願います。全体を通した体験を念頭に構成しています。

ワークショップ 2 11 月 13 日 (木) 16:10 ~ 18:00 ●第 3 会場 (5F 502)

「新生児医療と小児遺伝医療との新たな連携へ—dysmorphology のタベ実行委員会—」

座長：山口 有（群馬県立小児医療センター 遺伝科）

吉橋 博史（東京都立小児総合医療センター 臨床遺伝科）

1. 先天異常における診断プロセス

黒田友紀子（神奈川県立こども医療センター 遺伝科）

2. 新生児医療における網羅的遺伝学的検査の利用

森貞 直哉（兵庫県立こども病院 臨床遺伝科）

3. 先天異常と遺伝カウンセリング

村松友佳子（名古屋大学医学部附属病院 小児科）

4. ここまで変わった 13 トリソミーのある赤ちゃん、18 トリソミーのある赤ちゃんへのアプローチ

古庄 知己（信州大学医学部 遺伝医学教室）

5. 新生児医療とのさらなる連携にむけて—新たな取り組みと展望—

清水 健司（静岡県立こども病院 遺伝染色体科）

ワークショップ 3 11 月 13 日 (木) 14:25 ~ 15:50 ●第 4 会場 (5F 503)

「仁志田博司メモリアルシンポジウム—『あたたかい心を育む』こととは？」

座長：山田多佳子（仁志田学校同窓会）

加部 一彦（埼玉医科大学総合医療センター 新生児科）

1. あたたかい心を私たちに伝える研究

有光 威志（慶應義塾大学医学部 小児科）

2. 赤ちゃんのあたたかい心を育む IFCDC の活動

森口 紀子（社会医療法人愛仁会高槻病院）

3. 宇宙と私たちのつながり— Powers of Ten とプラネタリウムと

高橋真理子（一般社団法人星つむぎの村）

ワークショップ4 11月14日(金) 13:20～14:40 ●第3会場(5F 502)

(英文誌ワーキンググループ企画)「学会英文誌発行に向けて」

座長: 和田 和子(大阪母子医療センター 新生児科)

飛弾麻里子(さいたま市立病院 新生児内科)

1. 学会英文誌発行に向けて—これまでの経緯

和田 和子(大阪母子医療センター 新生児科)

2. 日本新生児成育医学会雑誌の現状

東海林宏道(順天堂大学医学部 小児科学講座)

3. Pediatrics International 誌における新生児関連投稿の現状

日下 隆(香川大学 小児科)

4. 日本小児循環器学会英文誌の歴史

須田 憲治(久留米大学医学部 小児科)

5. 日本小児内分泌学会の英文誌

道上 敏美(地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター研究所)

ワークショップ5 11月14日(金) 14:45～16:05 ●第3会場(5F 502)

(学会誌編集委員会企画)「論文の書き方・査読の仕方—学会誌特集より—」

座長: 東海林宏道(順天堂大学医学部 小児科学講座)

西崎 直人(順天堂大学医学部附属浦安病院 小児科)

1. 医学論文を書く前に—その意義と求められる姿勢—

落合 正行(九州大学環境発達医学研究センター)

2. 初学者のための「松原メソッド」を用いた症例報告の書き方

藤岡 一路(神戸大学大学院医学研究科内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門)

3. 後方視的研究に焦点を当てた原著論文の書き方

岩谷 壮太(兵庫県立こども病院)

4. 医学論文における統計解析—臨床医が知っておくべき基礎知識—

平野 大志(東京慈恵会医科大学 小児科学講座)

ワークショップ6 11月15日(土) 10:35～12:00 ●第2会場(5F 501)

「ROP (retinopathy of prematurity) 診療の現状と課題」

座長: 近藤雅楽子(東京都立墨東病院 新生児科)

伊藤 淳(東京大学医学部附属病院 小児科)

1. ROP 診療の全国アンケート調査

伊藤 淳(東京大学医学部附属病院 小児科)

2. 未熟児網膜症の発症・重症化予防の国内外のエビデンス

福井 加奈(国立成育医療研究センター 新生児科)

3. ROP 治療の現状と新たな課題

福嶋 葉子(大阪大学大学院医学系研究科 眼免疫再生医学共同研究講座)

4. 未熟児網膜症と視力予後—治療のゴールは?—

浅野みづ季(神奈川県立こども医療センター 眼科)

5. ROP の発達予後への影響と発達支援

九島 令子(東京都立墨東病院 新生児科)

ワークショップ7 11月15日(土) 13:30～14:50 ●第2会場(5F 501)

(医療安全委員会企画)「目で見る医療安全」

座長：白石 淳(国立循環器病研究センター 小児循環器内科部新生児科)

佐藤 敬(旭川厚生病院 小児科)

【病態写真紹介】写真が教える医療安全

長屋 建(旭川医科大学病院 周産母子センター)

1. 画像で診る医療安全

河野 達夫(都立小児総合医療センター 放射線科)

2. 当院 NICU における PICC 関連静脈炎予防の試み

中川 竜二(徳島大学病院 周産母子センター NICU)

3. 超音波検査を用いた臍静脈カテーテル迷入防止策

岸上 真(高槻病院 新生児科)

4. NICU における計画外抜管防止計画チームの質改善活動

丸山 秀彦(国立成育医療研究センター 新生児科)

5. 早い、簡単、LED による胃管先端位置確認システム“タムガイド[®]”

—胃管位置確認の闇を照らす—

岡崎 薫(東京都立小児総合医療センター 新生児科)

ワークショップ8 11月15日(土) 13:30～14:50 ●第3会場(5F 502)

(教育委員会企画)「今年もやります！プレゼンテーションの極意第2弾 いまさら聞けないコツを教えます！！」

座長：中西 秀彦(北里大学医学部附属新世紀医療開発センター 先端医療領域開発部門 新生児集中治療学)

杉浦 崇浩(名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野)

1. あなたのプレゼンを魅力的にするためのちょっとしたコツ

北畠 康司(大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

2. 伝わるスライドデザインの極意

田中佐代子(筑波大学芸術系)

3. 沈黙で語る

寺澤 大祐(岐阜県総合医療センター 新生児内科)

《講演者によるプレゼン修正前後の違いを説明》

ワークショップ9 11月15日(土) 14:00～15:20 ●第5会場(3F 304)

「研究者への道と海外留学のリアル」

座長：向井 丈雄(東京大学医学部附属病院 小児科)

加藤 晋(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児科)

1. 新生児科医にとっての研究と留学の必要性

藤岡 一路(神戸大学大学院医学研究科内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門)

2. 大学院と海外留学のラボ選びについて

神農 英雄(愛知医科大学病院 周産期母子医療センター)

3. 研究留学の実像それぞれに一東海岸ボストン編

加藤 晋(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児科)

4. 海外留学のリアル—スウェーデン編

向井 丈雄（東京大学医学部附属病院 小児科）

5. ラストチャンスかは自分次第—留学がもたらすチャンスと成長—

不破 一将（日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野）

6. Physician Scientist を目指す若者たちへ

難波 文彦（埼玉医科大学総合医療センター 小児科）

日本新生児成育医学会 委員会企画・特別企画

倫理委員会企画 11月15日（土）9：00～10：30 ●第2会場（5F 501）

「重篤な疾患を持つ子どもの医療をめぐる話し合いのガイドライン」をよりよく理解するために
—フィッシュボウル形式ワークショップ

ファシリテーター：飛弾麻里子（さいたま市立病院 周産期母子医療センター）

福原 里恵（県立広島病院 新生児科）

日本新生児成育医学会倫理委員会では、「患者家族と医療スタッフが児の最善を目指して話し合うにはどうしたらよいか？」というテーマのもとに、患者家族を含めた多職種でワークショップを行ってきました。過去数年間は、症例について「子どもにとっての最善」を考えて意見交換をする形式にしてきましたが、2025年のワークショップでは、より多くの方々が議論に参加できる（話し合いで発言する立場、聴く立場、事前登録参加、当日参加、短時間など）ようにこれまでと方式を変え、Fishbowl＝金魚鉢形式の意見交換方式をアレンジして試行し、話し合いの進め方を患者家族・多職種を含んだグループで検討することで、他職種の考え方、そして患者家族が話し合いにどのようなことを望んでいるのか、新しい気づきを共有したいと思います。

新生児シミュレーショントレーニング普及推進ワーキンググループ企画

11月15日（土）13：20～15：50 ●第6会場（4F 414+415）

第4回新生児シミュレーションセミナー「Nsim セミナー」

内容：新生児医療の専門医として身につけておくべき手技や判断能力を、シミュレーショントレーニングを通して学習するセミナーです。詳細は学術集会ホームページをご参照ください。

特別企画 11月14日（金）14：00～16：00 ●第6会場（4F 414 + 415）

「気管支鏡検査 ハンズオンセミナー」

企画者：長谷川久弥（東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科）

山田 洋輔（東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科）

第69回日本新生児成育医学会・第34回日本新生児看護学会 合同特別講演

合同特別講演1 11月14日（金）11：00～12：00 ●新生児看護学会第1会場（1F メインホール）

「いのちの始まりの生命倫理の概念枠組み再考」

演者：島蘭 進（大正大学）

座長：田村 正徳（佐久大学大学院）

合同特別講演 2 11 月 14 日（金）13：20～14：20 ●新生児看護学会第 1 会場（1F メインホール）

「新生児医療におけるナラティブと正義」

演者：熊谷晋一郎（東京大学先端科学技術研究センター）

座長：石黒 秋生（東京大学医学部附属病院 小児科）

合同特別講演 3 11 月 15 日（土）10：00～11：00 ●新生児看護学会第 1 会場（1F メインホール）

「生育限界の児の医療を、こどもと家族の未来につなぐ」

演者：有光 威志（慶應義塾大学医学部 小児科）

座長：天願 愛（東京大学医学部附属病院）

合同特別講演 4 11 月 15 日（土）11：00～12：00 ●新生児看護学会第 1 会場（1F メインホール）

「苦しみの向こうに光あり—震災で何を見たか—」

演者：佐藤 彰（福島第一聖書バプテスト教会）

座長：高橋 尚人（東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部）

第 69 回日本新生児成育医学会・第 34 回日本新生児看護学会 合同シンポジウム

合同シンポジウム 1 11 月 14 日（金）14：30～16：30 ●新生児看護学会第 2 会場（3F 303）

「疾患に伴う痛みの管理や術後疼痛管理」

座長：清水 彩（大阪公立大学大学院 看護学研究科 母性看護・助産学）

山田 恭聖（愛知医科大学病院 周産期母子医療センター）

1. NEC（壊死性腸炎）の痛みの管理

山田 恭聖（愛知医科大学病院 周産期母子医療センター）

2. 術後痛の測定と評価

小澤 未緒（広島大学大学院医系科学研究科）

3. 新生児に対する代表的な術式・外科疾患と周術期における術後疼痛管理の基本：

小児外科医の立場から

奈良 啓悟（大阪母子医療センター 小児外科）

4. 新生児の先天性心疾患手術における新術後疼痛管理の重要性：麻酔科医の立場から

蜷川 純（国立成育医療研究センター）

5. 小児集中治療室（PICU）における術後疼痛コントロール—診療看護師（NP）の立場から—

倉光真登香（聖マリアンナ医科大学 診療看護技術部 小児科・小児集中治療科出向）

6. NICU における術後痛緩和の取り組みと展望：新生児集中ケア認定看護師の立場から

豊島万希子（神奈川県立こども医療センター）

合同シンポジウム 2 11 月 15 日（土）13：30～15：50 ●新生児看護学会第 2 会場（3F 303）

「NICU の未来を創る—質の高いケアを支える診療報酬—」

座長：佐藤 義朗（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 新生児部門）

茂本 咲子（愛知医科大学看護学部 小児看護学）

1. 重症児ケアを進化させる NICU 重症児管理料—実態調査から見えた課題と展望—
祝原 賢幸（大阪母子医療センター 新生児科）
2. 重症児対応体制強化管理料取得に向けての取り組みと今後の課題
橋本美由起（長野県立こども病院 新生児病棟）
3. NICU・GCU に専門性の高い看護師が配属される意義
—令和8年度診療報酬改定に向けた日本新生児看護学会の取り組み—
齋藤 香織（神奈川県立こども医療センター）
4. NICU・GCU に入院するこどもが育まれる環境をいかにつくるかを考える
古田 恵香（東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院）
5. NICU/GCU 管理料、現場とのミスマッチをどう埋めるか
—対象疾患の見直しについて考える—
小林 玲（新潟大学医歯学総合病院 総合周産期母子医療センター）
6. 少子化時代における新生児医療の体制整備について
榊原 康平（厚生労働省医政局地域医療計画課）

教育セミナー

教育セミナー1 11月13日（木）12：10～13：10 ●第2会場（5F 501）

「一酸化窒素を味方につける新生児循環管理の極意」

座長：清水 正樹（埼玉県立小児医療センター 新生児科）

演者：山本 裕（岐阜県総合医療センター 新生児内科）

共催：マリンクロットファーマ株式会社

教育セミナー2 11月13日（木）12：10～13：10 ●第3会場（5F 502）

「先天性サイトメガロウイルス感染症の診療最前線

～スクリーニング・診断、治療、そして次の課題への挑戦～」

座長：岡 明（埼玉県立小児医療センター）

演者：森岡 一郎（日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野）

共催：株式会社シノテスト

教育セミナー3 11月13日（木）12：10～13：10 ●第5会場（3F 304）

「周産期に考える 赤ちゃんの頭のかたち」

座長：大賀 正一（九州大学）

1. 「周産期の現場で考えたい頭蓋変形の予防」

演者：西巻 滋（0歳からの頭のかたちクリニック表参道神宮前／横浜市立大学）

2. 「頭のかたち外来 15,000 人のデータから」

演者：五味 玲（0歳からの頭のかたちクリニック東京日本橋／自治医科大学）

共催：医療法人社団 0歳からの頭のかたちクリニック

教育セミナー 4 11 月 14 日 (金) 12:10 ~ 13:10 ●第 2 会場 (5F 501)

「テラーメイドな呼吸管理とケアを目指して」

座長：中西 秀彦（北里大学医学部附属新世紀医療開発センター 先端医療領域開発部門 新生児集中治療学）

演者：友滝 清一（京都大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター 新生児部門）

共催：ドレーゲルジャパン株式会社

教育セミナー 5 11 月 14 日 (金) 12:10 ~ 13:10 ●第 3 会場 (5F 502)

「CO₂ モニタリングの現在と未来—ETCO₂ と InstCO₂ が拓く赤ちゃんの呼吸管理」

座長：高橋大二郎（福田病院 新生児科）

1. 「ETCO₂ の基礎」

演者：長 和俊（JCHO 北海道病院）

2. 「HFOV でも CO₂ が見える！—InstCO₂ が拓く新生児呼吸管理の新時代」

演者：佐藤 義朗（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 新生児部門）

共催：日本光電工業株式会社

教育セミナー 6 11 月 14 日 (金) 12:10 ~ 13:10 ●第 4 会場 (5F 503)

「経鼻胃管誤挿入リスク低減への挑戦 ～ファイバー光源活用による位置確認～」

座長：森岡 一朗（日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野）

内田美恵子（元長野保健医療大学 看護学部）

1. 「経鼻栄養チューブの先端位置確認、あなたはどれにしますか？

胃吸引、胃泡音、レントゲン、それとも LED？」

演者：岡崎 薫（東京都立小児総合医療センター 新生児科）

2. 「NICU におけるタムガイドの導入から使用まで」

演者：村上 志保（済生会吹田病院 看護部）

共催：株式会社大塚製薬工場

教育セミナー 7 11 月 14 日 (金) 12:10 ~ 13:10 ●第 5 会場 (3F 304)

「NICU における経腸栄養とチーム医療」

座長：水野 克己（昭和医科大学 小児科学講座）

演者：近藤雅楽子（東京都立墨東病院 新生児科）

共催：クリニジェン株式会社

教育セミナー 8 11 月 14 日 (金) 12:10 ~ 13:10 ●第 6 会場 (4F 414 + 415)

「NICU 呼吸モニタリング最前線

～SpO₂・CO₂のおさらいから肺換気分布を“見える化”する EIT まで～」

座長：難波 文彦（埼玉医科大学総合医療センター 小児科）

演者：山田 洋輔（東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科）

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

教育セミナー9 11月14日(金) 12:10～13:10 ●第7会場(4F 416+417)

「新生児呼吸管理における NAVA の可能性～NICU から始まる発達支援～」

座長：小林 玲（新潟大学医歯学総合病院 総合周産期母子医療センター）

演者：齋藤 朋子（神奈川県立こども医療センター 新生児科）

共催：フクダ電子株式会社

教育セミナー10 11月15日(土) 12:10～13:10 ●第2会場(5F 501)

座長：中野 有也（昭和医科大学江東豊洲病院 小児内科）

1. 「当院での SGA 児診療—新生児科から小児内分泌科へ—」

演者：青木 政子（日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野）

2. 「SGA 児の代謝・メタボリック症候群」

演者：長野 伸彦（日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野）

共催：JCRファーマ株式会社

教育セミナー11 11月15日(土) 12:10～13:10 ●第3会場(5F 502)

「人工呼吸器ファビアン【運用の柔軟性と安全管理】」

座長：長谷川龍志（京都府立医科大学 小児科学教室）

1. 「HFNC も nDPAP も nDuoPAP も現場が求める“柔軟性”がここにある
～NIV-NAVA の時代に、あえてファビアンを語る理由～」

演者：秋田 大輔（京都第一赤十字病院 新生児科）

2. 「生命維持管理装置と部門システム連携による安全管理」

演者：倉島 直樹（東京科学大学病院 ME センター）

共催：エア・ウォーター・メディカル株式会社

教育セミナー12 11月15日(土) 12:10～13:10 ●第4会場(5F 503)

「RS ウイルス重症化予防戦略の現状と今後の展望」

座長：長 和俊（JCHO 北海道病院）

演者：森岡 一郎（日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野）

共催：サノフィ株式会社 / アストラゼネカ株式会社

教育セミナー13 11月15日(土) 12:10～13:10 ●第7会場(4F 416+417)

「母乳育児支援の今—医師も介入する根拠と実践で紡ぐ新たな支援のかたち」

座長：高橋 尚人（東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部）

1. 「母乳に秘められた力～科学が解き明かす母乳の多面的価値～」

演者：柴田 優花（国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科）

2. 「母乳育児をもっとチームで支えるには？～新生児集中ケア現場と医師の協働～」

演者：岩切美穂子（東京大学医学部附属病院 小児医療センター GCU）

共催：メデラ株式会社

イブニングセミナー 11 月 14 日（金）16：50～17：50 ●第 5 会場（3F 304）

「軟骨無形成症における他科連携による早期介入の重要性を考える」

座長：本田 義信（いわき市医療センター 未熟児・新生児科）

1. 「軟骨無形成症の早期診断並びに早期治療の重要性と新生児医療を中心とした多職種連携」

演者：松本 志郎（熊本大学病院 新生児学寄附講座）

2. 「軟骨無形成症の早期診断と早期治療介入に向けた新生児科の役割」

演者：森岡 一郎（日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野）

共催：BioMarin Pharmaceutical Japan 株式会社

モーニングセミナー 11 月 15 日（土）8：00～8：50 ●第 3 会場（5F 502）

「バリビズマブ適応追加 5 疾患に対する使用の手引き追補版のポイントと今後の展望」

座長：森岡 一郎（日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野）

演者：森 雅亮（東京科学大学 国際医工共創研究院 生涯免疫医療実装講座 /

聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

共催：アストラゼネカ株式会社

サテライトセミナー

第 54 回ハイリスク児フォローアップ研究会

11 月 14 日（金）18：00～19：00 ●第 3 会場（5F 502）

タイトル：「NICU 退院児の慢性腎臓病リスクとそのスクリーニング」

講 師：張田 豊先生（東京大学医学部附属病院 小児科）

参加費：1,000 円（当日会場で徴収）事前予約は不要、会員外も参加可能

（専門医制度小児科領域講習 1 単位予定）

講師からの内容紹介：

ハイリスク児は腎ネフロン数が少ない傾向にあり、遠隔期に高血圧や慢性腎臓病（CKD）を発症しやすい。また、新生児期の急性腎障害（AKI）は、さらにそのリスクを増大させる。CKD は、長い人生の中でさまざまな病態の発症と関係する重要な健康課題である。本講演では、CKD 発症の背景や評価方法についての最近の知見を整理し、新生児科医と小児腎臓病医との連携によるフォロー体制構築について議論する

第 5 回 LUNG CLUB

11 月 14 日（金）18：00～19：30 ●第 7 会場（4F 416 + 417）

開催の目的：

本セミナーは、新生児呼吸器疾患に関連する諸問題や新たな治療法、最新技術に関する話題を通じて、わが国における新生児医療の今後の発展に寄与するとともに、参加者間の親睦と医療人としての資質向上を目的とする。

今回の講演では、NICU における肺エコーに焦点を当てる。肺エコーの基本所見やエコー機器の設定に関する話から始まり、呼吸窮迫症候群、気胸、新生児慢性肺疾患など、さまざまな新生児呼吸器疾患における肺エコーの適応とその臨床応用について、茨城県立こども病院 NICU での実際の経験をもとに紹介する。また、参加者との双方向のディスカッションを通じて、日々の診療に役立つ知見を

深める場とする。

講演タイトル

「新生児肺エコーの最近の話題」(仮題)

講師：星野 雄介 先生(茨城県立こども病院 新生児科医長)

参加費：1,000円(ワイン・ソフトドリンク、定員50名)※事前申し込み要

セミナー実行委員長：難波 文彦(埼玉医科大学総合医療センター 小児科)

セミナー実行委員：中西 秀彦(北里大学医学部附属新世紀医療開発センター 先端医療領域開発部門 新生児集中治療学)

郷 勇人(福島県立医科大学 小児科学講座)

加藤 晋(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児科)

共催：ドレーゲルジャパン株式会社

事務局：難波 文彦(埼玉医科大学総合医療センター 小児科)

問い合わせ先：nambaf@saitama-med.ac.jp

第25回新生児感染症管理予防研究会

11月15日(土)8:00~8:50 ●日本新生児看護学会第4会場(4F 411+412)

テーマ「超音波検査による院内感染と対策」

①「超音波プローブの消毒」

柳 貴英(滋賀医科大学医学部附属病院 小児科)

②「保育器の環境整備(ターミナルクリーニングを含む)」

竹島 雅子(愛知医科大学病院 新生児集中ケア認定看護師)

コメント

NICUでのアウトブレイクを考える際、器具、環境のこと気になりますか?本セミナーでは、超音波プローブ、保育器の消毒・環境整備についてご講演いただきます。みなさんと議論しましょう。

参加費：無料 ※事前申し込み不要

代表世話人：戸石 悟司(成田赤十字病院 新生児科)

岡崎 薫(東京都立小児総合医療センター 新生児科)

企画担当世話人：坂井 拓朗(札幌医科大学附属病院 産科周産期科(新生児))

荒木 弥生(東邦大学医療センター大森病院 看護部)

事務局：木下 大介(京都第一赤十字病院 新生児科)

問い合わせ先：daisukekinoshita04@gmail.com

若手新生児科医フェローシップについて

若手新生児科医フェローシップは本学会学術集會に筆頭演者として発表する卒後10年目の医師を対象とし、選考により当該の学術集會参加費などを免除するもので、今後の新生児医療の発展に不可欠な若手新生児科医の確保・育成に寄与することを願って設立されたものです。

今年も多数のご応募をいただき、17名が採用されました。該当の演題には★マークで表示しております。

また、当日の会員証には「若手新生児科医フェローシップ」と表示しております。学術集會ご参加の先生方におかれましては趣旨をご理解の上、温かいお声掛けをお願いいたします。